

【守谷市南部地域包括支援センター 熱中症予防訪問まとめ】

・今年度熱中症予防訪問のフォロー対象者の状況や特徴		
・フォローA（6件）の内容は、介護保険申請、施設情報の提供、住宅改修手続き、緊急通報システムの説明の対応等であった。 ・フォローB・Cは、現在は日常生活に支障がなさそうだが身体機能が低下している方、生活環境が気になる方、自身でSOS発信が難しそうな方が主に対象となった。 ・訪問時には、フォローなしと判断したが、訪問後から病状の悪化を主訴とした相談や家族、民生委員からの支援依頼で対応するケースが数件みられた。困ったときの相談先として地域包括支援センターが浸透してきている。		
・訪問を通じて感じた地域の「特徴」と「課題」		
	特徴	課題
守谷地区	・戸建てだけでなく、アパートやマンションに居住している方も多い。同じマンションの別階などに家族が住んでいる方も多い。 ・大きな商業施設の近くに居住している方は、歩いて買い物にでかけることができる。 ・一部、室内外が散らかっている家なども見受けられる。	・マンション等の集団住宅内での地域活動（サロン）がないため、活動しやすい場所があるといいのではないかな。 ・居住地域により買い物が不便。 ・居住地がクリニックや移動スーパーから遠い方は、移動手段が必要である。
高野地区	・訪問に対して理解が得られやすい印象。 ・昔ながらの家屋が多く、屋内の段差が多い。 ・アパートに居住している独居の方が多い地区もある。 ・かかりつけ医の世代交代のために、主治医を変更した方々がみられた。	・身体状況の変化により、住宅改修などの調整が必要になることが予想される。 ・疾患を抱えている人で介護状態になりそうな高齢者が多く見受けられた地区もあった。

みずき野地区	・戸建ての集合住宅団地。 ・生活は自立されているが、友人同士の繋がりから紹介を受けて、デイサービスや住宅改修を希望される方が見受けられる。 ・独居でも、みずき野内や近隣に子どもや兄弟が住んでいる方も多い。 ・買い物や外出支援など、みずき野内での活動がある。 ・趣味やサロンへの参加やスポーツクラブやテニス、プールなどに通われる活動的な方が多い。 ・民生委員から地域包括支援センターに相談が入るケースが多い。	・住居には、外階段が高く手摺のない住宅が多い。 ・買い物には、車やバスが必要なため買い物が不便。
---------------	--	---